

健康寿命延伸のための「社会健康医学」推進委員会
研究推進検討部会(第3回) 会議録

日 時	平成 31 年 3 月 15 日 (金) 午後 4 時 05 分から午後 4 時 55 分まで
場 所	ホテルセンチュリー静岡 3 階「プラタナス」
出席者 職・氏名	出席委員：5 名（敬称略） 中山健夫、佐古伊康、田中一成、松田文彦、宮地良樹 欠席委員：3 名（敬称略） 宮田裕章、山本清二、山本敏博 事務局 県参与 山口重則 健康福祉部長 池田和久 健康福祉部理事 鈴木宙志 健康福祉部管理局長 前島稔生 健康福祉部理事 土屋厚子 ほか健康福祉部職員
議 題	1 社会健康医学研究に係る平成 30 年度の取組及び平成 31 年度の実施 内容について 2 社会健康医学研究の推進について 3 その他
配布資料	議事次第 資料 1 健康寿命延伸のための「社会健康医学」推進委員会研究推進検 討部会委員名簿 資料 2 社会健康医学研究に係る平成 30 年度の取組及び平成 31 年度の 実施内容 資料 3 社会健康医学研究の推進 参考資料 社会健康医学関連新聞記事

1 審議事項

- (1) 社会健康医学研究に係る平成 30 年度の取組及び平成 31 年度の実施内容
について
- (2) 社会健康医学研究の推進について

2 審議内容

池田健康福祉部長から、資料 2 により「社会健康医学研究に係る平成 30 年度の取組及び平成 31 年度の実施内容」について、資料 3 により「社会健康医学研究の推進」について、説明した後、各委員による議論を行った。

- (1) 社会健康医学研究に係る平成 30 年度の取組及び平成 31 年度の実施内容
について
 - ・研究における同意書は、個々の研究ごとではなく、共通の雛形を作って

おくことが必要。

- 県の社会健康医学研究において採取した検体については、二次利用や商業利用ができる形にしておいた方がよい。
- 医療ビッグデータについても、次世代医療基盤法に基づき、匿名加工会社（認定代理機関）で匿名化処理を行えば、同意なしで使えると思う。
- コホート研究では、色々なことを同時に調べることにより、想定していない関係性が見つかることもある。個々の研究に横串を通して、研究計画を見ていくことが必要。

(2) 社会健康医学研究の推進について

- 研究のポンチ絵について、「臨床」という言葉が明確に記載されている方が、医療関係者には魅力的に見えるため、「臨床疫学研究（地域・医療施設）」に修正してはどうか。
- ライフステージの中で意識が変容する環境因子をデータとして持つておくと、後で研究に活用できる。

(3) その他

- 静岡県は、大学に勤務する医師数（人口当たり）は全国47位で、医学研究が十分でない。大学院大学の設置理由として、このことを提言していく。
- 大学院大学の設置について、「知と人材の集積拠点」を目指すことが基本理念に掲げており、これによって、優秀な医師確保を目指し、医師不足解消にもつなげていくためには、人材育成の拠点（大学院大学）をつくることが長期的にもっともよいことと提言していく。